【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年2月9日(2006.2.9)

【公開番号】特開2000-189398(P2000-189398A)
【公開日】平成12年7月11日(2000.7.11)
【出願番号】特願平10-376283
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/055　(2006.01)
Ｇ０１Ｂ　7/00　(2006.01)
Ｇ０１Ｒ　33/32　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/05　３８２
Ｇ０１Ｂ　7/00　Ｒ
Ａ６１Ｂ　5/05　３７０
Ｇ０１Ｎ　24/02　５２０Ｙ

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月15日(2005.12.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
被検体が置かれる空間に静磁場、傾斜磁場、高周波磁場の各磁場を発生する手段と、前記被検体から生じる核磁気共鳴信号を検出する手段と、前記核磁気共鳴信号をもとに前記被検体の画像を再構成する手段と、前記画像を表示する手段と、これら各手段による撮像、再構成、画像表示の条件を設定し制御する制御手段とを備えた磁気共鳴イメージング装置において、
第１の撮像条件と第２の撮像条件とを切り替えるための指示が入力される入力手段を備え、
前記制御手段は、術具が挿入された前記検体を前記第１の撮像条件で撮像中に、前記切り替え指示に応答して、前記第２の撮像条件での撮像に切り替えることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項２】
請求項１記載の磁気共鳴イメージング装置において、
前記第１の撮像条件は、グラディエントエコー法によるシーケンスを用いることを含み、
前記第２の撮像条件は、スピンエコー法によるシーケンスを用いることを含む
ことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項３】
請求項１記載の磁気共鳴イメージング装置において、
前記第１の撮像条件と前記第２の撮像条件とでは、読み出し傾斜磁場の強度が異なることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項４】
請求項１記載の磁気共鳴イメージング装置において、
前記第１の撮像条件と前記第２の撮像条件とでは、位相エンコード方向と読み出し方向のうちの少なくとも一方が異なることを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。
【請求項５】

被検体が置かれる空間に静磁場、傾斜磁場、高周波磁場の各磁場を発生する手段と、前記被検体から生じる核磁気共鳴信号を検出する手段と、前記核磁気共鳴信号をもとに前記被検体の画像を再構成する手段と、前記画像を表示する手段と、これら各手段による撮像、再構成、画像表示の条件を設定し制御する制御手段とを備えた磁気共鳴イメージング装置において、

前記制御手段は、被検体の断層像の撮像、再構成、画像表示を連続して行い、リアルタイムに連続画像表示を行う透視撮像中に、前記撮像条件を切り替え、前記被検体内の特定の対象の陰影を所望の幅に制御する手段を備え、陰影幅の異なる複数の画像を表示することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】

即ち、本発明のＭＲＩ装置は、被検体が置かれる空間に静磁場、傾斜磁場、高周波磁場の各磁場を発生する手段と、被検体から生じる核磁気共鳴（ＮＭＲ）信号を検出する手段と、ＮＭＲ信号をもとに被検体の画像を再構成する手段と、画像を表示する手段と、これら各手段による撮像、再構成、画像表示の条件を設定し制御する制御手段とを備えたＭＲＩ装置において、

第１の撮像条件と第２の撮像条件とを切り替えるための指示が入力される入力手段を備え、前記制御手段は、術具が挿入された前記検体を前記第１の撮像条件で撮像中に、前記切り替え指示に応答して、前記第２の撮像条件での撮像に切り替えることを特徴とする。

又は、前記制御手段は、被検体の断層像の撮像、再構成、画像表示を連続して行い、リアルタイムに連続画像表示を行う透視撮像中に、前記撮像条件を切り替え、前記被検体内の特定の対象の陰影を所望の幅に制御する手段を備え、陰影幅の異なる複数の画像を表示することを特徴とする。